

「スポーツ」で富山を応援したい

中島祥元 さん



プロフィール

中島 祥元 (なかしま よしもと)
1976年富山県高岡市生まれ。
2001年早稲田大学人間科学部スポーツ科学科を卒業後、スポーツ関連ベンチャーの立ち上げに参加、取締役を務める。
2009年株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパンを設立、2012年一般社団法人ウィズスポ(現一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン)を設立し両法人の代表。
これまでにプロデューサーとして、自転車、ランニングを中心とした大小様々なスポーツイベントの立ち上げから企画運営、スポーツによる町おこし・地域活性化事業、公共スポーツ施設の事業開発等に従事。スポーツツーリズムやサイクルツーリズムの分野では官公庁の行政委員も多数務める。とやまふるさと大使、とやまファン倶楽部世話人。

今年(2024年)に入ってから、かなり頻りに富山に帰っている。つい先日、金婚式を迎えたばかりの両親と高岡(氷見の景勝地巡りをしてきた(雨晴海岸がとても美しく、平日なのに観光客も大勢いてそれが嬉しかった！))。平均すれば月に2回くらいのペースで、これは大学進学を機に高岡から東京に出てきて以来、おそらく最も多い頻度になると思う。理由を自分なりに考えてみると、元日に母方の実家である氷見の海岸線にあり、あの能登半島地震を体験したことも関係しているかもしれない。「富山にいた時間をもっと増やしたいな」と思うようになった。

高校まで高岡で過ごし、大学進学を機に上京、卒業後にスポーツビジネスの世界に入った。その後独立して自分の会社を立ち上げ、いまはルーツ・スポーツ・ジャパンという「スポーツ×地域活性化」の会社を経営している。「スポーツ×ツーリズム(観光)」とも称される領域で、主に地方でスポーツを楽しむ(する、観る)機会を創り、都市部や海外から人を地方に動かし、その地域に経済効果や交流人口の拡大といった効果を生むというもの。全国35を超える都道府県で何かしらの取り組みをさせてもらっている。もちろん、富山でも。

ぼくが「スポーツ」を生涯の仕事として選んだのは、それまでに生きてきた中で、自分自身が感じたことのある、もっとも素晴らしい瞬間は常にスポーツとともにあったから。中学高校の部活動での経験なども含め、スポーツで「心が前向きに動く」のをいつも感じてきた。自分が心から素晴らしいと思えるこの分野で、より多くの人に幸せや感動を与えられる仕事がしたいと強く思う。これから。そしてもう一つのキーワードである「地域活性化」を選んだのは、これは父が高岡商工会議所の職員として、日々、高岡の街をいかに元気にしていくかを考えている姿をみてきたから、というのも多少影響があるのかなと自己分析している。スポーツの力で日本中の地域を元気にしていきたい。

富山では「高岡ねがいみち駅伝」という市街地型のランニングイベントを開催させてもらった。北陸新幹線開業が数年後に迫った2012年頃、「マラソンイベントを開催して高岡を盛り上げよう」という企画書を書いて色々な方をご紹介いただき、ご縁がつながり地元若手経営者の皆さん(元気がたかおか未来会議)と意気投合、2013年に初開催することができた。幼い頃の記憶では大勢の人で溢れかえっていた高岡の中心市街地に、多くの市民ランナーや応援する方々が詰めかけ、大賑わいとなった光景

には感慨深いものがあつた。残念ながら2020年以降は新型コロナの影響で大会が中止になり再開できていないが、また機会をみて復活できたらいいなと思う。個人的には、バスケットボールBリーグに所属する富山グラウジーズを熱烈に応援している。富山での試合にも年に何度か足を運ぶし、関東近郊でのアウェイゲームには息子も連れて応援に出かけることも多い。

富山グラウジーズのチームスローガンは「喰らいつけ」。少し長いけど全文引用すると「富山はおとなしい。富山はつまらない。そんなこと誰が決めた。大都市ではない。ビッグクラブでもない。でも、そんなものは大したことじゃない、と決めつける。(中略)恐れることを知らないその態度が、追って、追って、追いつけるその姿勢が、富山の誇りになると信じて。喰らいつけ」。ぼくはこのスローガンが大好きだ。やもすると「謙虚でおとなしい」とされがちだけど実は「芯が強く、負けず嫌い」なところもある富山県人の県民性をよく表している、強いものに立ち向かっていく心意気は、中小ベンチャーの経営者である自分自身とも重ね合わせられてグッとくる。グラウジーズは2026年からの新リーグにおいて、最上位の「Bプレミア」に参入できることが先日決まった。日本のTOPリーグで存分に喰らいついて欲しい。

自分自身の事業でも、また仕事以外の活動も含めて、これからもスポーツを通じて富山を応援し続けていきたいと思う。



高岡ねがいみち駅伝



富山グラウジーズ関連 家族で観戦の様子